

概要

youtube を BGM として再生する方法。

できれば youtube の画面を表示せずに音楽だけ流したい。

foobar2000

foobar2000 を使うのが一番オススメ。

foobar2000 に youtube components を入れることで youtube を再生できるようになる。

mac や linux の場合は wine を使う。

mac の場合は、brew でインストールした wine だと音がでなかったり、フリーズすることが多い気がする。

WineHQ から pkg をダウンロードしてインストールした方がいいかも。

wine で使う

```
SSL connet error 35
```

のエラーが発生する場合は、SSL のライブラリを変更する必要がある。

- 1.youtube component の download サイトから libcurl_openssl をダウンロード
 - 1.<https://fy.3dyd.com/download/>
- 2.libcurl_openssl.dll を foobar のディレクトリにコピー（どこでもよい）
- 3.youtube component の curl ライブラリを変更する
 - 1.foobar の設定画面を開く
 - 2.左のツリーの Tools -> Youtube Source を選択
 - 3.Maintenance タブを開く
 - 4.Third-party Binaries の libcurl を右クリックして External を選択
 - 5.さきほどコピーした libcurl_openssl.dll を選択
 - 6.OK を選択して foobar を再起動する

mpsynt

CLI の youtube 再生プレイヤー。

python3 で動作する。

正確には youtube のデータを他のプレイヤーに渡すツール。

プレイヤーは内蔵していないので、他のプレイヤーを準備する必要がある。

標準では mplayer を使うようになっている。

インストール

CentOS でのインストール方法。基本的には debian 系も mac も同じ。

mplayer のインストール

nux-dextop から mplayer をインストールする。

```
sudo rpm -Uvh http://li.nux.ro/download/nux/dextop/e17 /x86_64 /nux-dextop-release-0 -5 .e17
.nux.noarch.rpm
sudo yum install mplayer
```

mpsynt のインストール

```
sudo yum install python34 python34-pip
```

```
pip3 install --user youtube-dl mps-youtube
```

設定

```
set
```

で設定値を変更できる。

検索カテゴリをなくす

標準では音楽カテゴリを検索できるようになっているが、聞きたいものが音楽カテゴリになっているとは限らないので、検索を音楽カテゴリに絞らないようにする。

```
set search_music false
```

mplayer 以外を使う場合

```
set player vlc
```

等で変更できる。

使い方

https://blog.keinos.com/20161129_1718

検索

```
/ キーワード
```

キーワードは半角スペースで区切って複数入力可

ローカルリストに曲を追加

検索後に検索結果からローカルプレイリストに曲を追加する

```
add 番号 リスト名
```

この時リスト名が存在しない場合、新しくプレイリストを作成する。

```
例  
add 12 jpop
```

ローカルリストを再生

```
play リスト名
```

ローカルリストを確認、削除

ローカルリストを一覧表示

```
ls
```

ローカルリストを削除

rm リスト名

ローカルリスト内を確認

view リスト名

ローカルリストを編集

open リスト名
rm 番号
save [リスト名]

save でリスト名を指定すると別リストとして保存できる。